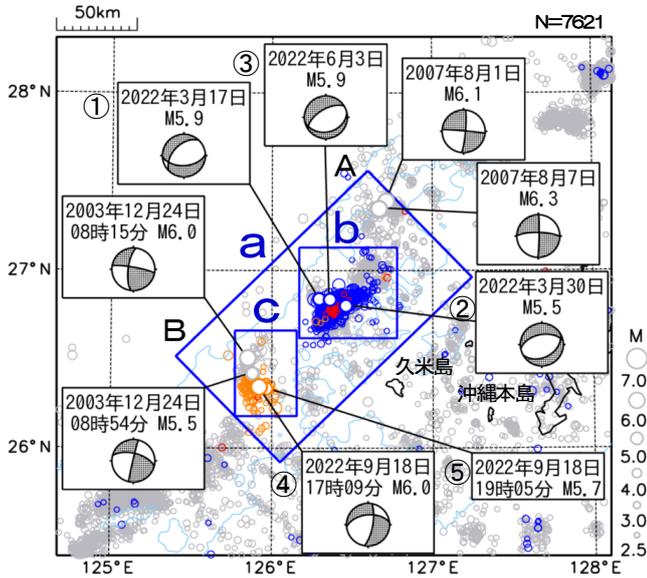


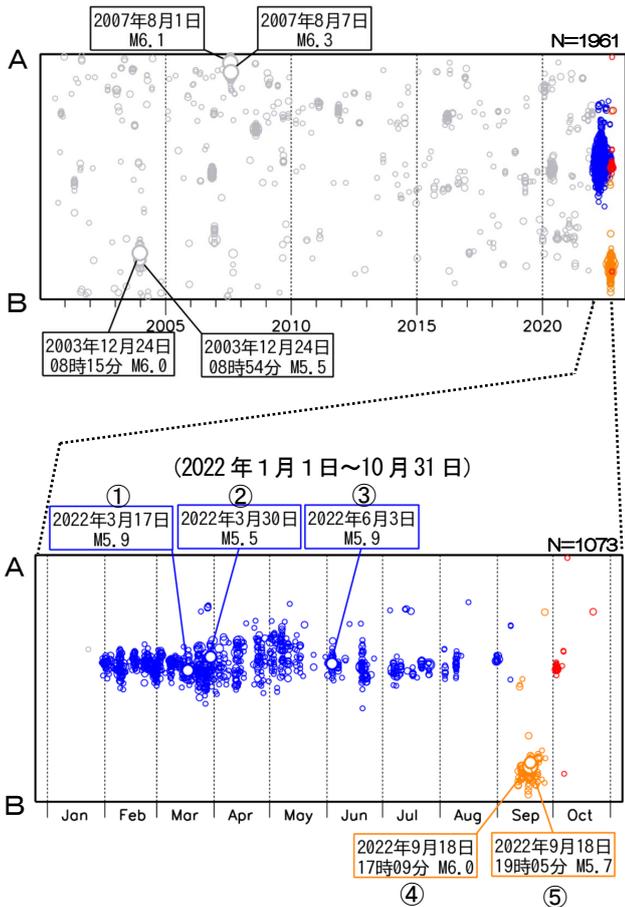
沖縄本島北西沖の地震活動

震央分布図
 (2000年7月1日～2022年10月31日、
 深さ0km～60km、 $M \geq 2.5$)
 2022年1月30日以降の地震を青色、9月12日以降の地震
 を橙色、10月の地震を赤色で表示



図中の水色の等値線は水深1500mを示す。

領域a内の時空間分布図 (A-B投影)



沖縄本島北西沖 (領域a) では、2022年1月30日から地震活動が活発になり、10月31日までに震度1以上を観測する地震が77回 (震度3 : 2回、震度2 : 27回、震度1 : 48回) 発生した。この地震活動は、沖縄トラフの活動で陸のプレート内で発生している。

久米島の北西約50km (領域b) では、3月17日及び6月3日にはM5.9の地震 (いずれも最大震度2、それぞれ図中①、③)、3月30日にはM5.5の地震 (最大震度3、図中②) が発生した。これらの地震の発震機構 (CMT解) は、北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。領域bでは1月30日から10月31日までに震度1以上を観測する地震が69回 (震度3 : 1回、震度2 : 26回、震度1 : 42回、このうち10月中は震度1 : 2回) 発生している。なお、10月に入り活動は低調になった。

久米島の西約80km (領域c) では、2022年9月18日17時09分にM6.0の地震 (最大震度2、図中④) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、北西-南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。また、領域cでは同日19時05分にM5.7の地震 (最大震度3、図中⑤) が発生した。領域cでは9月12日から地震活動が活発になったが、9月下旬ごろから活動は落ち着いている。9月12日から9月30日までに震度1以上を観測する地震が8回 (震度3 : 1回、震度2 : 1回、震度1 : 6回) 発生した。なお、10月に震度1以上を観測する地震は発生していない。

各領域内のM-T図及び回数積算図
 (2022年1月1日～10月31日)

